

# 第 35 回北陸病害動物研究会

## 開催要項

ご挨拶

今回、初めて北陸病害動物研究会のお世話をさせて頂くことになりました、金沢医科大学医動物教室 村上 学です。皆様、よろしく願いいたします。

私は今まで本研究会に 4 回ほど参加させて頂いていますが毎回、衛生動物、寄生虫、ウイルスや細菌等の様々な専門家が疾病、媒介動物や環境要因等、様々な観点から得られた研究成果を発表されており、新たな知識、発見やアイデアを享受できる、毎年楽しみにしている研究会の一つです。この研究会が北陸地域病害動物関係者の交流促進および研究発展のお役に立てることを期待しております。

2017 年 7 月 1 日

第 35 回北陸病害動物研究会

当番幹事 村上 学

日 時 : 2017 年 7 月 1 日 (土曜日) 13 : 00 ~ 17 : 00

会 場 : 金沢医科大学 基礎研究棟 高層棟 5 階 D51 号室

お車で来校の方は正面出入り口 (守衛室があります) から入校していただき別図 (校内 Map) に従い駐車してください。(守衛には研究会参加とお伝えください)

参加費 : 1000 円 (学生、院生は無料)

(プログラム終了後の懇親会で飲み物、軽食を準備しています。)

発 表 : Windows パソコンを準備しています。Microsoft PowerPoint でプレゼンテーションファイルを作製し USB メモリか CD-R でお持ちください。

Mac を使用希望の場合は VGA 変換アダプターと PC をお持ちください。

口演中の操作はご自身でお願いします。

口演時間は質疑を含め 12 分をお願いいたします。

(目安として口演 10 分、質疑応答 2 分)



校内Map (<http://www.kanazawa-med.ac.jp/other/accessmap05.html>)



プログラム

12 : 30～ 受付開始

12 : 55～ 当番幹事挨拶

13 : 00～14 : 36 一般演題 座長 上村 清

13 : 00～ 「セアカゴケグモとはどんなクモ」

上村 清

(丸三製薬バイテック株式会社)

13 : 12～ 「近年被害が多発している鳥インフルエンザについて及びペストコントロールの  
観点から見た予防対策」

本田正人、菊池陽一

(丸三製薬バイオテック株式会社 金沢支店)

13 : 24～ 「富山県のアブ相」

渡辺 護

(感染研・昆虫医科学)

座長 高田伸弘

13 : 36～ 「北陸～近畿で続発し始めたマダニ媒介感染症」

高田伸弘<sup>1, 4</sup>・夏秋 優<sup>2</sup>・石畝 史<sup>3, 4</sup>・矢野泰弘<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>福井大・医, <sup>2</sup>兵庫医大, <sup>3</sup>国際ビジネス学院, <sup>4</sup>MFSS)

13 : 48～ 「岐阜県の動物におけるマダニ媒介性感染症の病原体・抗体保有状況調査および  
県内のマダニ相 (予報) について」

山口智博<sup>1</sup>、高田伸弘<sup>2, 3</sup>、葛口剛<sup>1</sup>、西岡真弘<sup>1</sup>、小林香夫<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>岐阜県保健環境研究所、<sup>2</sup>福井大学医学部、<sup>3</sup>医学野外研究支援会)

14 : 00～ 「富山県におけるイノシシおよび植生上からのマダニの採取状況と SFTSV 保有状況  
について」

佐賀由美子<sup>1</sup>・稲畑 良<sup>1</sup>・稲崎倫子<sup>1</sup>・名古屋真弓<sup>1</sup>・米田哲也<sup>1</sup>・板持雅恵<sup>1</sup>・  
渡辺 護<sup>2</sup>・小淵正次<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>富山県衛生研究所ウイルス部、<sup>2</sup>国立感染症研究所昆虫医科学部)

14 : 12～ 「マダニ体内における病原体の存在様式から感染時期を推察する」

矢野泰弘

(福井大学医学部医動物学領域)

14 : 24～ 「石川県加賀地方のニホンイノシシから記録されたマダニ類」

平松新一<sup>1</sup>・及川陽三郎<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>石川県白山自然保護センター、<sup>2</sup>金沢医科大学)

14 : 36～14 : 45 休憩

- 14 : 45～15 : 15 特別講演 座長 及川陽三郎  
「石川県におけるイノシシおよびシカの侵入状況」  
小谷直樹  
(石川県白山自然保護センター)
- 15 : 15～16 : 27 一般演題 座長 所 正治
- 15 : 15～ 「臨床寄生虫検査依頼の動向」  
所 正治  
(金沢大・院医・寄生虫感染症制御学)
- 15 : 27～ 「途上国での原虫等への感染の主な原因は飲料水か？」  
木村憲司・所 正治  
(金沢大, 院医, 寄生虫感染症制御学)
- 15 : 39～ 「Isolation and identification of free-living amoebae from environmental samples」  
Armando Corona, Takeshi Nagamoto, and Masaharu Tokoro  
(Department of Parasitology, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa Univ.)
- 15 : 51～ 「Transgene mediated inhibition of collagen-induced platelet aggregation by Anopheline Anti-Platelet Protein, regulates probing time and blood feeding success in malaria vector mosquito *Anopheles stephensi*」  
Islam Ashekul<sup>1</sup>, Talha Bin Emran<sup>1</sup>, Daisuke Yamamoto<sup>2</sup>, Mitsuhiro Iyori<sup>1</sup>, Fitri Amelia<sup>1</sup>, Yenni Yusuf<sup>1</sup>, Nobuko Tuno<sup>3</sup>, Yoshida Shigeto<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>Laboratory of Vaccinology and Applied Immunology, Kanazawa University School of Pharmacy, Kanazawa, Japan  
<sup>2</sup>Division of Medical Zoology, Department of Infection and Immunity, Jichi Medical University, Yakushiji, Shimotsuke, Tochigi, Japan  
<sup>3</sup>Laboratory of Ecology, Kanazawa University School of Natural System, Kanazawa, Japan)
- 16 : 03～ 「ケニアにおけるエントアメーバおよびトリコモナス類の分子疫学」  
西村太朗・所 正治  
(金沢大、寄生虫感染症制御学)
- 16 : 15～ 「ケニアにおけるジアルジア及びその他のフォルニカータ原虫の分子疫学」  
西出実央・永元健啓・所 正治  
(金沢大、寄生虫感染症制御学)
- 16 : 27～17 : 00 閉会挨拶・懇親会